

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									3.6
Q-1 室内環境									4.1
1 音環境									
1.1 騒音									
1.1.1 暗騒音レベル									
1.2 遮音									
1.2.1 開口部遮音性能					T2以上				
1.2.2 界壁遮音性能									
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)					スラブ厚さ150+仕上げ				
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.1.1 室温設定									
2.1.2 外皮性能					W	外断熱			
2.1.3 ソーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
3.1.1 昼光率					W	昼光率2.8%			
3.1.2 方位別開口									
3.1.3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
3.2.1 昼光制御					W	庇+カーテン			
3.3 照度									
3.3.1 照度						調光制御			
3.4 照明制御						壁面コントローラーによる調光制御			
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.1.1 化学物質汚染						☆☆☆☆以上			
4.2 換気									
4.2.1 換気量						十分な換気量			
4.2.2 自然換気性能						窓からの自然換気			
4.2.3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
4.3.1 CO ₂ の監視									
4.3.2 喫煙の制御									
Q-2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.1.1 広さ・収納性									
1.1.2 高度情報通信設備対応									
1.1.3 バリアフリー計画						バリアフリー新法の望ましいレベル			
1.2 心理性・快適性									
1.2.1 広さ感・景観									
1.2.2 リフレッシュスペース									
1.2.3 内装計画						視覚障害者に配慮した素材・色彩計画			
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.1.1 耐震性						道基準に適合			
2.1.2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W				
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W				
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔					W				
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔					W				
2.3 適切な更新									
2.3.1 屋上・屋根・外壁仕上げ材の更新									
2.3.2 配管・配線材の更新									
2.3.3 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性									
2.4.1 空調・換気設備						中央温水暖房、個別換気			
2.4.2 給排水・衛生設備						(学校)水道直圧方式、(ホテル)受水槽方式			
2.4.3 電気設備						電源設備・精密機械の地下への設置を避けた			
2.4.4 機械・配管支持方法									
2.4.5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				将来的な間取りの変更可能	3.4	0.24	3.0	0.50	
1 階高のゆとり					3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.24	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.53			
1 空調配管の更新性					3.0	0.17			
2 給排水管の更新性				3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22				
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G		植栽帯・まちなみを意識した建物ボリューム	4.0	0.20			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					4.0	0.40			4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	地域性のある外装材 中庭	4.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		十分な緑地帯	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.5
LR-1 エネルギー						0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制	W			外壁・ガラスに高断熱性能のものを採用	3.3	0.30			3.2
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				-	-			
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	1.00			
3 設備システムの高効率化	W			高効率なシステムを構成	5.0	0.30			5.0
4 効率的運用					4.0	0.20			4.0
4.1 モニタリング	W				-	-			
4.2 運用管理体制	W			基本方針の設定	4.0	1.00			
LR-2 資源・マテリアル						0.30			3.3
1 水資源保護					4.0	0.15			4.0
1.1 節水	W			省水型機器の選定	4.0	1.00			
1.2 雨水利用・雑排水再利用					-	-			
1 雨水利用システム導入の有無	W				-	-			
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				-	-			
2 低環境負荷材					3.2	0.85			3.2
2.1 資源の再利用効率					3.6	0.35			
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率	W			プラスチックデッキ材、パーティクルボード、活性炭	5.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18			
2.5 部材の再利用可能性	W			シンプルな工法の採用	4.0	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避					2.5	0.18			
1 消火剤	W				-	-			
2 断熱材	W				2.0	0.50			
3 冷媒	W				3.0	0.50			
LR-3 敷地外環境						0.30			3.4
1 大気汚染防止	W				3.0	0.14			3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.09			3.0
2.1 騒音					3.0	1.00			
2.2 振動					-	-			
2.3 悪臭					-	-			
3 風害、日照障害の抑制					3.3	0.10			3.3
3.1 風害の抑制					3.0	0.70			
3.2 日照障害の抑制				日影規制に余裕あり	4.0	0.30			
4 光害の抑制				適切な外部照明	5.0	0.05			5.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		3.0	0.30			3.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.8	0.32			3.8
6.1 雨水処理負荷抑制	W				-	-			
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.14			
6.3 交通負荷抑制				駐輪場 駐車場	5.0	0.43			
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.43			

■ LR-1 用途別得点表	学校	ホテル			面積按分 総合スコア
	9,716 m2	2991 m2	-	-	
1 建物の熱負荷抑制	4.0	1.0	-	-	3.3
3 設備システムの [ERRIによる評価]	5.0	5.0	-	-	5
高効率化 [個別設備による評価]	-	-	-	-	
3.1 空調設備	-	-	-	-	
3.2 換気設備	3.0	5.0	-	-	
3.3 照明設備	5.0	5.0	-	-	
3.4 給湯設備	-	4.0	-	-	
3.5 昇降機設備	-	-	-	-	